



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社遠藤製作所
 コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理財務部担当
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 渡部 大史
 (氏名) 石原 睦
 TEL 0256-63-6111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 11,554 | 6.3 | 714 | 55.9 | 833 | 50.0 | 464 | 63.7 |
| 2022年12月期第3四半期 | 10,866 | 15.8 | 1,621 | 18.5 | 1,665 | 20.9 | 1,281 | 31.4 |

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,289百万円 (44.3%) 2022年12月期第3四半期 2,314百万円 (364.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|----------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第3四半期 | 53.08 | |
| 2022年12月期第3四半期 | 146.45 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 24,357 | 19,506 | 80.1 |
| 2022年12月期 | 21,868 | 18,372 | 84.0 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 19,506百万円 2022年12月期 18,372百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | | 0.00 | | 18.00 | 18.00 |
| 2023年12月期 | | 0.00 | | | |
| 2023年12月期(予想) | | | | 20.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,000 | 2.9 | 1,000 | 46.0 | 1,100 | 39.9 | 1,000 | 25.5 | 114.29 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-----------|-------------|
| 2023年12月期3Q | 9,441,800 株 | 2022年12月期 | 9,441,800 株 |
|-------------|-------------|-----------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 2023年12月期3Q | 688,282 株 | 2022年12月期 | 691,782 株 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2023年12月期3Q | 8,752,089 株 | 2022年12月期3Q | 8,749,750 株 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|

(注)期末自己株式数には、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式が含まれております(2023年12月期3Q61,300株、2022年12月期64,800株)。また、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年12月期3Q62,729株、2022年12月期3Q65,090株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格や原材料価格等の高騰により、コストプッシュによるインフレの動きが引き続きみられたほか、諸外国でのインフレ対策による、利上げ等の金融政策が実施されたこと等により急激な円安傾向が継続し、先行きに対する不透明感が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、設備投資による生産設備の強化を実施し、安定した製品の供給維持に努めました。また、顧客との対面でのリレーション強化及び生産の効率化を実施することにより、積極的な受注活動を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は115億54百万円（前年同期比6.3%増）となりました。利益面につきましては、効率化及びコスト低減に努めたものの、円安や原材料価格等の高騰等から、営業利益7億14百万円（同55.9%減）、経常利益8億33百万円（同50.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億64百万円（同63.7%減）と増収減益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（ゴルフ事業）

ゴルフ事業のゴルフ分野につきましては、市場は好調に推移した状況から一服感がみられるものの、現行モデルの出荷は一定数確保することができ、安定した製品の供給を維持することができました。また、新分野である航空機分野では、国内外問わず航空機需要が回復したこと等により、受注が順調に推移しました。当社は生産設備の強化を実施し安定供給に努めた結果、売上高56億19百万円（同5.3%増）となりました。利益面につきましては、原油価格や原材料価格等の高騰及び円安進行による仕入価格の増加等の影響がみられ、営業利益9億25百万円（同32.6%減）となりました。

（メタルスリーブ事業）

メタルスリーブ事業につきましては、自動車関連部品や、モーター関連部品での新たな用途開発及び営業による新分野開拓へ努める一方、開発及び生産の効率化を実施したものの、ペーパーレス進展にともなう複合機市場の停滞や、各種メーカーの生産調整の影響もあり。売上高4億98百万円（同38.2%減）、営業損失75百万円（前年同期営業利益90百万円）となりました。

（鍛造事業）

鍛造事業につきましては、タイ国内の自動車市場は、生産及び輸出において堅調に推移いたしました。このような状況のもと当社は、一層の原価低減活動によるコスト削減に努めたものの、エネルギー価格や原油価格、原材料価格等の高騰の影響もあり、売上高54億36百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益2億78百万円（同45.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、243億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億89百万円増加いたしました。

流動資産は、158億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億87百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金、電子記録債権、仕掛品等が増加したこと等によるものであります。固定資産は、85億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加いたしました。この主な要因は、建設仮勘定、土地、工具、器具及び備品が増加したこと等によるものであります。

②負債の部

負債合計は、48億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億55百万円増加いたしました。

流動負債は、33億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億18百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金、賞与引当金、未払法人税等が増加したこと等によるものであります。固定負債は、14億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。この主な要因は、繰延税金負債及び退職給付に係る負債、役員株式給付引当金が増加したこと等によるものであります。

③純資産の部

純資産合計は、195億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億33百万円増加いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定及び利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年2月14日の決算短信で公表いたしました通期の予算数値を修正しております。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,157,634 | 9,092,967 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,348,038 | 3,443,967 |
| 電子記録債権 | 333,251 | 442,696 |
| 有価証券 | 100,000 | 100,000 |
| 商品及び製品 | 799,261 | 820,570 |
| 仕掛品 | 661,943 | 761,013 |
| 原材料及び貯蔵品 | 958,408 | 993,906 |
| その他 | 145,269 | 206,382 |
| 貸倒引当金 | △52,718 | △23,034 |
| 流動資産合計 | 13,451,088 | 15,838,469 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,638,460 | 2,659,783 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,991,884 | 1,920,158 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 137,542 | 187,023 |
| 土地 | 1,558,750 | 1,620,522 |
| 建設仮勘定 | 114,287 | 252,852 |
| 有形固定資産合計 | 6,440,924 | 6,640,340 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産 | 98,575 | 118,031 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 984,464 | 838,109 |
| 投資不動産（純額） | 234,524 | 232,907 |
| 退職給付に係る資産 | 526,669 | 549,343 |
| 繰延税金資産 | 116,440 | 124,293 |
| その他 | 15,653 | 16,349 |
| 投資その他の資産合計 | 1,877,753 | 1,761,003 |
| 固定資産合計 | 8,417,254 | 8,519,376 |
| 資産合計 | 21,868,342 | 24,357,845 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 907,541 | 2,096,595 |
| 短期借入金 | 100,000 | 100,000 |
| 未払法人税等 | 107,420 | 127,145 |
| 未払金及び未払費用 | 478,416 | 442,515 |
| 賞与引当金 | 183,922 | 460,225 |
| その他 | 279,639 | 148,737 |
| 流動負債合計 | 2,056,939 | 3,375,219 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 275,000 | 200,000 |
| 繰延税金負債 | 635,113 | 733,137 |
| 退職給付に係る負債 | 441,302 | 464,342 |
| 役員株式給付引当金 | 50,481 | 57,359 |
| その他 | 36,899 | 21,261 |
| 固定負債合計 | 1,438,797 | 1,476,101 |
| 負債合計 | 3,495,736 | 4,851,320 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,241,788 | 1,241,788 |
| 資本剰余金 | 1,220,643 | 1,220,643 |
| 利益剰余金 | 13,896,078 | 14,202,016 |
| 自己株式 | △297,498 | △294,845 |
| 株主資本合計 | 16,061,012 | 16,369,603 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,363 | 24,711 |
| 為替換算調整勘定 | 2,333,879 | 3,122,792 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △30,649 | △10,582 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,311,593 | 3,136,922 |
| 純資産合計 | 18,372,605 | 19,506,525 |
| 負債純資産合計 | 21,868,342 | 24,357,845 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 10,866,377 | 11,554,447 |
| 売上原価 | 7,927,213 | 9,697,818 |
| 売上総利益 | 2,939,163 | 1,856,629 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,317,258 | 1,142,049 |
| 営業利益 | 1,621,905 | 714,580 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,136 | 43,967 |
| 受取配当金 | 1,662 | 1,648 |
| 投資不動産賃貸料 | 7,994 | 8,118 |
| 投資事業組合運用益 | — | 7,161 |
| 助成金収入 | 40,305 | 21,823 |
| 為替差益 | 153,374 | 75,145 |
| その他 | 31,347 | 27,734 |
| 営業外収益合計 | 244,820 | 185,600 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,926 | 1,462 |
| 持分法による投資損失 | 1,229 | 38,550 |
| 投資不動産賃貸費用 | 8,048 | 6,459 |
| 投資有価証券評価損 | 164,055 | 9,497 |
| 投資事業組合運用損 | 18,570 | — |
| その他 | 5,943 | 11,040 |
| 営業外費用合計 | 200,774 | 67,010 |
| 経常利益 | 1,665,951 | 833,170 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,665,951 | 833,170 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 426,333 | 280,824 |
| 法人税等調整額 | △41,803 | 87,741 |
| 法人税等合計 | 384,530 | 368,565 |
| 四半期純利益 | 1,281,421 | 464,604 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,281,421 | 464,604 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第3四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年9月30日） | 当第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,281,421 | 464,604 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,123 | 16,348 |
| 為替換算調整勘定 | 1,002,278 | 788,913 |
| 退職給付に係る調整額 | 33,442 | 20,066 |
| その他の包括利益合計 | 1,032,596 | 825,328 |
| 四半期包括利益 | 2,314,018 | 1,289,933 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,314,018 | 1,289,933 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

（セグメント情報等）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|---------------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | ゴルフ事業 | メタルスリ ーブ事業 | 鍛造事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,337,884 | 805,886 | 4,722,605 | 10,866,377 | — | 10,866,377 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客に対する売上高 | 5,337,884 | 805,886 | 4,722,605 | 10,866,377 | — | 10,866,377 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,337,884 | 805,886 | 4,722,605 | 10,866,377 | — | 10,866,377 |
| セグメント利益 | 1,373,807 | 90,836 | 510,972 | 1,975,616 | △353,711 | 1,621,905 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△353,711千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△353,711千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|---------------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | ゴルフ事業 | メタルスリ ーブ事業 | 鍛造事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,619,940 | 498,230 | 5,436,277 | 11,554,447 | — | 11,554,447 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客に対する売上高 | 5,619,940 | 498,230 | 5,436,277 | 11,554,447 | — | 11,554,447 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,619,940 | 498,230 | 5,436,277 | 11,554,447 | — | 11,554,447 |
| セグメント利益又は損失（△） | 925,543 | △75,874 | 278,265 | 1,127,934 | △413,353 | 714,580 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△413,353千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△413,353千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。